



VII 資料

1995年1月17日の阪神・淡路大震災当日から4月24日までの間に、学内の各部課が発行した震災に関する全ての資料（通知書、パンフレット、ポスター、写真等）を事務局宛に提出を求め、約440点が集まった。これらの資料すべてをファイルした「関西学院 阪神・淡路大震災資料集」を複製と合わせて2部作成し、大学図書館および学院史資料室に保存するとともに、この報告書には次の資料にしぼって収録した。

資料1は震災当日より開催された全学連絡会の秘書室による記録メモ、資料2は学長および学部長名で全学生諸君と父母ら保証人宛に郵送した書類、資料3、4は報道機関への資料および学内広報紙、資料5は新聞広告、資料6は延べ300を越す本学についての震災関連新聞記事から7点、資料7、8、9は学内にある三つの組合が組合員にとったアンケートの全文である。さらに多くの資料を掲載したかったが、ページ数の制約もあり、割愛した。

資料 1. 全学連絡会・災害対策本部会議の記録（メモ）

◇第 1 回全学連絡会

日 時：1995年1月17日（火） 10：20
場 所：関西学院本部大会議室
出席者：武田、山口、中西、大河内、北、大西（和）、
篠崎、嵯峨根、吉松、橋本、吉村（保）、
石原（誠）、鳥越、石田（孝）、田中（文）、岡崎、
中、古武

各部署現況報告

理学部小火
4 G亀裂の点検必要
学生会館電気不通
全学断水（新グラウンド受水槽損壊）
次回、本日14：00から

◇第 2 回全学連絡会

日 時：1995年1月17日（火） 14：30
場 所：関西学院本部大会議室
出席者：武田、山口、中西、石井、大河内、中迫、海野、
北、大西（和）、篠崎、吉松、橋本、吉村（保）、
石原（誠）、鳥越、三波、岡上、石田（孝）、
大西（英）、村上、重松、中

各部署現況報告

四番町、五番町界隈の下宿倒壊による下宿学生の安否。
赤穂荘：商学部1人、若葉荘：文2人、経2人
奥田荘：法1人、文1人、奥井荘：1人
の死亡情報あり。確認を急ぐこと。
入試応募問い合わせには、21日付消印有効を決定。
阪急電車の不通と断水の状況に鑑みて、今週中は休校
を決定。
下宿生の下宿先損壊による対応
学生寮への一時的収容を検討中だが、公的避難場所
（近くでは上ヶ原小学校）への避難を先行させること
を決定。（理由：水、食料、毛布等の公的援助が受け
られる）。
今後、毎日10時と14時に本会を定例開催する。各部課
1人を出席させる。

◇第 3 回全学連絡会

日 時：1995年1月18日（水） 10：30
場 所：関西学院本部大会議室
出席者：〔学院本部〕武田、山口、〔秘〕大河内、嵯峨根、
〔総務〕中西、海野、北、竹原、小川、花田、
〔財務〕石井（施設）、山田、松尾、〔施設〕吉松、
橋本、〔広報〕古結、小野、〔総政〕石原、
〔宗セン〕大西、今井、〔保健館〕黒崎、
〔総体〕松尾、〔大学〕鳥越（教務）、井上（琢）、
杉原（学生）、細川、三波（就職）、井上（久）、
〔学長室〕土屋（明）、〔大事〕室谷、
〔学生〕石田、〔厚生〕岡上、〔入試〕岡本、

〔図書館〕尼子、萩原、〔産研〕田中、
〔総研〕平田、〔神〕宮谷、神田、木ノ脇、平山、
森、〔文〕中、〔社〕立木、〔法〕野田、
〔経〕大西、〔商〕久保田（哲）、久保田（祥）、
〔理〕岸本、〔高〕中島、崎田、〔中〕平井、

入試関係

昨日、応募について21日付消印有効としていたが、検
討の上、23日付消印および受験料受入を期限とすること
を決定。
あわせて、中学部入試についての告知、大学、高等部、
中学部の休校処置についての報道告知を行うことを決定
（別添）。

現況報告

厚生課長より、1月17日、15：00現在で、学生8人の
死亡が報告された。
五番町赤穂荘 : コジマ（達）商3年
五番町第一奥田荘：西部直行（法4）
高木（文哲1）
四番町若葉荘 : 文：重松、高橋
経：山辺、野呂
六番町奥井荘 : 氏名不詳？

学生課長より仁川百合野町土砂崩れ現場に柔道部学生
が居るとの未確認情報が報告された。

昨日、上ヶ原小学校へ避難していた人が超過となる状
態であり、関学生50～60人を学館ロビーに休ませたところ、
50～60人がこれを利用。あわせて職員の見守りにつ
いて、今朝より宗教センター・ラウンジを開放し、収容
していることが、宗教センター事務長より報告あり。避
難者は、神田（神学部）立木（社会学部）両教授。

下宿生に対して、KGに避難集合させ、学館3F会議
室及び和室を開放する。トイレについては水を確保する
こととする。

食料については、生協と相談するとの案が出た。
この件については行政当局とも相談し、本学学生のみ
ならず地域住民の収容も行う。場所としては学生会館、
次いで体育館、中央講堂の順で開放することを考えてお
くこと、あわせて、入試、卒業式等の時期を控えて、期
限等を設定することを条件とする。

◇第 4 回全学連絡会

日 時：1995年1月18日（水） 14：00
場 所：関西学院本部大会議室
出席者：〔学院本部〕武田、山口、〔秘〕大河内、嵯峨根、
〔総務〕中西、海野、北、花田、〔人事〕篠崎、
〔財務〕石井（施設）、山田、松尾、〔施設〕吉松、
橋本、〔広報〕小野、〔総政〕吉村、谷井、石原、
〔宗セン〕大西、〔千刈C〕岡、〔保健館〕黒崎、
〔総体〕宮田、松尾、〔大学〕鳥越（教務）、
井上（琢）、井上（勝）、井上（久）、

[学長室] 土屋(明)、[大事] 室谷、土井、
[学生] 石田、[厚生] 寺島、[国際交流] 太田、
伊角、[就職] 岡崎、小川、[図書館] 尼子、
萩原、高橋、[産研] 田中、[総研] 平田、
[神] 宮谷、神田、木ノ脇、平山、[文] 中、
[法] 柳屋、野田、[経] 崎、大西、井下、北井、
[商] 久保田(哲)、久保田(祥)、[理] 山下、
[高] 崎田、[中] 尾崎、平井、[生協] 安保、
北山、寺川、善野、

現況報告

藤田耕一氏母堂死亡、中西正雄(商)氏母堂死亡
崎田(高)氏姉死亡、平岡教諭(高)父君死亡
辰馬理事死亡、星野名誉教授死亡、荒川氏生埋め状態
石橋教諭、小林教諭、小福さん=家屋全壊
文学部へフリガー先生骨折入院
学生逝去者の件

法学部4年西部君は兄君が遺体引き取り

避難場所の件

学館→体育館 とりあえず今週末日までのこととして、
期限は3月末日までとする。トイレにはプールの水を利用する。

予算編成

予算についての各委員会開催が不可能だと考えられる
ので、今後の展開としては、復活折衝で対応すること
として実施していく。

入試について

入試日の延期は現段階では考えられない。

高等部

今週休校。

1月21日の帰国生徒入試は中止。

中学部

入試2月1日は現状のまま。

校舎被害甚大。

中学部会館倒壊の可能性あり。

理工学部の状況

火災が次の恐怖。

施設

新グラウンドの水源はダメ、仁川井戸は一両日中に水
が出る可能性がある。

暖房については、水が利用できるようになってから点
検からスタート。

図書館

書庫から本が落ちている。10人程度の職員で復旧を図っ
ている。

保健館

薬局から整理を始めている。外来医師の来院は無理。

従来からの投薬は可能。

情セン

かなりのダメージを受けている。日立の調査を待って
いるが2~3週間以上はかかる。

財務

さくらBANK オンラインはストップ。KGのCD機

は稼動。

人事

KCSと連絡とれず。場合によっては、1月分給与は
全額支給できない可能性がある。

千刈キャンプより、オニギリ300コ、水60リットル、
お茶150人分、プロパン2本、洗米4升を持 参。今夜
から学館への避難者に提供する。

神

パイプオルガン倒壊。

向井教授宅全壊。

文

教員消息をチェック中、半数未。

中川先生宅損壊。

法

研究室に入れないところがある(内側から書棚等が倒
れている)。

経

2~3人の教員宅倒壊。

商

校舎2F廊下に亀裂あり。

各学部で学生同士の連絡の場をつくる必要(法、経実施)。
文部省、私大連等への連絡。

◇第5回全学連絡会

日時:1995年1月19日(木) 10:00

場所:関西学院院本部大会議室

出席者:[学院本部] 武田、山口、船本、[秘] 大河内、
嵯峨根、[総務] 中西、中迫、海野、北、竹原、
岡本、[人事] 北井、寺東、[財務] 石井(施設)、
松尾、安永、[広報] 古結、[総政] 吉村、石原、
[宗セン] 大西、[保健館] 黒崎、[総体] 宮田、
松尾、[大学] 柚木、鳥越(教務)、井上(琢)、
三波(就職)、[教務] 重松、[図書館] 萩原、
[産研] 比留井、[法] 野田、[商] 久保田(祥)、
[理] 山下、[高] 崎、[中] 尾崎、平井、
[生協] 安保、北山、寺川、

学生部

18日夜、学館避難所へ77人収容。

KG生:60%

住民:40%

施設部

水を本日午前中に実験的に流す。

正門正面に連絡用立て看板を設置する。

大学

本日1時より会議予定。

入試体制は従来原則案通りの協力要請。

1人、7回の入試監督要請。地方入試の監督者人員入
れ替えなし。

受験生のホテル予約を神戸方面から大阪へシフトして
いる(生協より)。

下宿生の帰省タイミング。

A T Eの教員確認の予定(17日に連絡調査したきりになっていた)。

入試部の対応。

文学部、中川努先生逝去(高木小学校に遺体安置)。

高等部、後藤教諭の父君逝去。

図書館、渋谷主任の母堂逝去。

中西教授(商)母逝去、22日大阪告別式。

森本教授(商)両親逝去。

KG学生逝去。

児嶋、重松克洋(文)、高橋(経)、山辺哲夫(経)、

野呂太祐(経)西部(法)、高木公志(文哲)

市井聡(理)、高須(文史)

高等部

生徒50人程度が連絡未。うち1/5程度が家屋損傷の可能性あり。

中学部

120人確認。

神

43人確認。

文

下宿生の消息調査スタート

社

建物、教室はO.K。学生は全員無事。

追悼礼拝は必ず行いたい。

◇第6回全学連絡会

日時:1995年1月19日(木) 15:00

場所:関西学院本部大会議室

出席者:[学院本部] 武田、山口、[秘] 大河内、嵯峨根、
[総務] 中西、中迫、海野、北、[人事] 石原、
北井、[財務] 石井(施設)、山田、松尾、安永、
[広報] 古結、小野、[総政] 吉村、石原、
[宗セン] 大西、[保健館] 黒崎、[総体] 宮田、
松尾、[千刈C] 岡、[大学] 柚木、遠藤、
鳥越(教務)、直野、井上(琢)、杉原(学生)、
井上(勝)、杉谷、[厚生] 岡上、[入試] 浅野、
[国際交流] 伊角、[就職] 小川、[図書館] 萩原、
[産研] 田中、比留井、[総研] 平田、[神] 神田、
平山、森、[文] 岩瀬、中、[社] 立木、速水、
[法] 柳屋、中村、[経] 大西、[商] 久保田(哲)、
久保田(祥)、[理] 小西、山下、[高] 崎、
[中] 尾崎、平井、[生協] 安保、北山、寺川、

学生逝去者

扇アキ、タカギコウジ、ミキアキヒロ、タカス、ワダ、
シゲマツカツヒロ、ニシベ、ヤブウチ、コジマ、
ノロタイスケ、タカハシ、ヤマベ

なお、理学部イチイ君は宝塚署の通知であったが、本人生存が確認された。

避難者への対応

夜間の管理態勢を整えるため、本部からも宿直員を出す。

入試関係(井上 勝)

本日の会議(入試関係会議)では、入試日程の変更はしないことを確認。

ただし、全体に1時間遅らせる時間変更を行うことを決定。

定期試験関係

定期試験は予定通り実施。ただし、座席指定は行わない。

採点不能の場合は、代理採点手続が必要。

学生関係

学生課外活動は自粛。

大学関係

学生、教学補佐、実験実習指導補佐等の消息把握を進める。

受験生の車での入試会場乗り入れを検討する。

教員全体への対応

(1)被災状況 (2)出勤不能者 (3)連絡方法 等の確認を急ぐ。

各学部執行体制の会議等開催を要請する。

各部課報告

神

学生104人中16人を残し連絡済み。

学生から神学部校舎を夜間も開放せよと要望があり、本日その対応を行う。

文

学生情報把握につとめている。

レポートは郵送も可としている。

経

教職員のうち6人への連絡が未。

理

17日、8:00の火災は鎮火。しかし、その後もくすぶり続けている。薬品によるもので、水をかけると発火するという状態。理学部は立ち入り禁止中。

囑託の宿直要員が宿直拒否したので、理学部教職員が交替で宿直している。

二次災害を防止している。実験用電源を切っている。

高等部

教員2人連絡つかず。

労務の西浜氏負傷。

生徒181人の無事を確認。

中学部

18日の余震で、矢内会館が左へ5度傾斜。

グラウンドに大きな亀裂。

礼拝堂のハリが危険。

生徒の約70%の安全確認。

入試延期を検討中。

1月27日まで休校。

大学院

修士論文提出期限を無期延期。

施設部

仁川井戸の水を実験的に通水。

矢内会館は取り壊しを検討している。

4Gの亀裂は樹脂注入で修復可能。

学生会館の暖房は可能。

各部署の点検箇所のメモを提出せよ。

図書館

電動書架がストップ。

総務関係

携帯電話の新設が必要。

本学の電話交換器は無事。

インターネット専用回線は生きている。

入室不可能の研究室は放置状態のまま。

生協から職員用オムスビを総務部へ一括配給。

可燃、不燃ゴミを分別収集し、労務職員の出勤態勢の

整うまで室内に置いておくように。

ガラス破片等の処理には注意し、まとめておく。

火の元の用心を徹底すること。

正面入口に仮設掲示板を設置。

仁川荘2階が南東側に倒壊、潰滅状態。

財務関係

1月分の支払いは止める。関係業者等へ連絡は各部署で行うこと。

◇第7回全学連絡会

日時：1995年1月20日（金） 10：00

場所：関西学院本部大会議室

出席者：[学院本部] 武田、船本、山口、[秘] 大河内、嵯峨根、[総務] 中西、中迫、北、徳田、竹原、[人事] 篠崎、[財務] 石井（施設）、鈴木、山田、松尾、安永、[広報] 野村、[総政] 吉村、[宗セン] 大西、[総体] 宮田、松尾、[大学] 柚木、鳥越（教務）、井上（琢）、杉原（学生）、芝田、柳屋、三波（就職）、井上（久）、[大事] 室谷、[教務] 重松、高松、[学生] 石田、[厚生] 岡上、[入試] 岡本、[国際交流] 伊角、[図書館] 尼子、萩原、[産研] 田中、[総研] 平田、[神] 平山、森、[文] 釣部、中、[社] 真鍋、立木、岡部、[経] 山本、松本、大西、[商] 久保田（哲）、久保田（祥）、[理] 岸本、[高] 崎、[中] 平井、[生協] 安保、北山、寺川、

大学

文学部ナカガワアキコの死亡が伝えられたが、これは誤報。

休講についての告知を明朝新聞広告の予定。

学部執行部開催の体勢を執るように。

教員、教学補佐等の動員態勢のために実態把握。

自宅外通学生4004人中、推定1300人が家屋を失った可能性がある。

入試関係告知は本日新聞広告掲載。

入試会場の変更は認める方針。

受験不可能者については、検討中。

各部署報告等

神学部

1月23日臨時教授会開催予定。

被災学生への校舎開放は別途学館への収容もあり、学部としては不可能の結論。

文学部

本日、13：00より教授会開催予定。

社会学部

教員2人消息つかめず。

1月23日学部執行部会、1月25日臨時教授会開催予定。

法学部

1月25日13：30執行部会、1月28日教授会開催。

経済学部

教員5人消息つかめず。職員は全員無事を確認。

理学部

教員2人消息つかめず。

高等部

教員1人消息つかめず。

1月21日13：00教師会。

生協

炊き出しは順調。

教職員用昼食弁当を10：00までに総務課宛に申し込むこと。

他大学の地域住民避難受け入れ概数。

神戸大 2000人

甲南大 1000人

大手前女子大 500人

学生への資金貸出を検討中。

体育館

教員1人未確認。

情セン

コンピューターホストはほぼ大丈夫。

総務

教職員宿泊は新月会館2階で対応。

その他

学生ボランティアとして、応援団、野球部、アメフト部等の学生が応募。活動に入っている。

◇第8回全学連絡会

日時：1995年1月21日（土） 10：00

場所：関西学院本部大会議室

出席者：[学院本部] 武田、船本、山口、小島、

[秘] 大河内、嵯峨根、[総務] 中迫、海野、花田、[人事] 田中、篠崎、[財務] 石井（施設）、山田、松尾、[施設] 榎野、[広報] 古結、[総政] 吉村、[保健館] 黒崎、[総体] 宮田、松尾、[大学] 柚木、佐々木、井上（琢）、杉原（学生）、柳屋、杉谷、平松、三波（就職）、井上（久）、[学生] 土井、[厚生] 岡上、[図書館] 尼子、萩原、[産研] 比留井、[神] 神田、平山、[文] 岩瀬、中、[社] 西山、立木、岡部、[法] 三浦、前野、林、塚本、古武、[経] 大西、[商] 久保田（哲）、久保田（祥）、[理] 小西、山下、[高] 崎、岡本、[中] 平井、[生協] 安保、北山、寺川、

大学関係

死亡学生：イトウマサヒロ（文）、ヒラタトモエ（商）
「学長から各学部へお願い」（別紙）

入試のための緊急依頼書を院長、学長名で関係大学等へ出す必要がある

レポート締切、試験の範囲、家屋の倒壊等について21日中に対応するように計っている。

入試後に如何なる教育環境が維持できるのかを検討する必要がある。

学館の避難状況

1月19日夜 約60人

1月20日夜 約130～140人、KG生と市民50%。余震、天候悪化のため増加の可能性あり。

暖房、トイレ、三食供給とも順調。

マネジメントは、KGのボランティア学生と生協ボランティア6人で維持できている。

来週から本部から1人の管理担当宿直を派遣すること。千刈キャンプ場の風呂を開放。

1月21日 15:00～23:00

1月22日 13:00～23:00まで

学館の避難者へは大学が主として対応する。

新阪急ホテルの広報分室は、大学と学部で交替対応。

各部報告

社

全学部生に往復ハガキを出す予定。

法

飛澤名誉教授、地震のため逝去。

理

教員全員無事を確認、職員1人消息つかめず。

5人からなる学部対策本部を設置

高等部

生徒の40%の消息確認。

本日教師会。

中学部

生徒の83%=474人の確認済み。

矢内会館、毎日数度づつ傾斜が強まる。

体育館

グラウンドを駐車場として使用。

避難市民の児童のために、体育館（卓球場やレスリング場）を開放。

図書館

来週中に一部利用可能を目指して書棚整理を進行中。

人事

1月分給与を11月分給与と同額支払う。2月に決算の予定（KCSダウンのため）。

アルバイト一律5万円支給（調整2月）。

以上の件は別途告知する。

◇第9回全学連絡会

日時：1995年1月23日（月） 10:00

場所：関西学院本部大会議室

出席者：〔学院本部〕武田、船本、山口、小島、

〔秘〕大河内、嵯峨根、〔総務〕中迫、海野、北、花田、〔人事〕田中、篠崎、石原、〔財務〕石井（施設）、山田、松尾、安永、〔施設〕権野、〔広報〕古結、小野、〔総政〕西村、石原、〔宗セン〕大西、今井、〔学院史〕川崎、〔保健館〕黒崎、〔総体〕宮田、松尾、〔大学〕柚木、鳥越（教務）、佐々木、雄山、井上（琢）、杉原（学生）、富田、柳屋、杉谷、三波（就職）、井上（久）、〔大事〕室谷、〔教務〕小倉、〔学生〕石田、〔厚生〕岡上、〔就職〕小西、〔図書館〕田中、尼子、牧野、〔産研〕田中、〔総研〕平田、〔神〕宮谷、湯木、神田、平山、〔文〕釣部、〔社〕西山、高坂、立木、岡部、〔法〕森脇、塚本、古武、〔経〕山本、松本、大西、〔商〕深山、久保田（哲）、久保田（祥）、〔理〕山下、〔高〕岡本、〔中〕尾崎、川崎、平井、〔生協〕安保、北山、寺川、

逝去者

（法）松本

大学院研究課アルバイト職員 秋山さん

学館避難者

1月21日（土） 130人

1月22日（日） 184人収容

生協

本日11:00より、物販開店。パン、弁当コーナーもオープン。

全国大学生協から救援物資続々到着。

学生会館へも現役学生、OBから、大量の救援物資到着。

西宮市より毛布400枚受給。

大学関係

・定期試験については、明朝の新聞広告掲出。

・甲南大学より校舎利用の要請あり。その他の大学関係からの要請にも応え得る限り応えたい。

・全学生の保護者へメールを出す予定に関しては、26日をメドに発送する。

・高等部からの進学者面接は1月28日の予定だったが、これは中止する。

神学部

全員無事（学生、教職員とも）。11:00臨時教授会。

文学部

教職員消息確認終了。11:00教員説明会。

社会学部

建物亀裂なし。13:00執行部会、1月25日13:00教授会。

法学部

教職員消息確認終了。日曜日事務室開室。13:00執行部会、1月28日教授会

経済学部

11:00学部長室会、1月25日13:00教授会。

商学部

嘱託職員秋山氏死亡確認。11：00拡大執行部会。

理学部

職員の宿直態勢維持。11：00教員懇談会、その後教授会へ移行の予定。

高等部

1月21日教師会。

教職員全員無事。

生徒97%確認無事（27人不明）。

中学部

教員4人が未連絡だが無事の様子。

生徒の避難先未確認が20人、ただし全員無事。

学生活動補助費を援助関係経費として使用する。

3月の卒業式は予定通り。

3月28日終業式。

入試は大幅に遅らせることが予測される。

図書館

書棚整理を最優先。学生に必要な10万冊をまず貸出し態勢に持ち込む。

本日午後から2F閲覧室オープン。

情セン

3つのコンピュータ復旧。

インターネットを利用して、学外発信可能。本学の公式発表を流す。

財務

学費減免については、学内の数的な詳細な情報がほしい。

さくら銀行甲東支店金庫がダウン。逆瀬川支店が本学に対応。

義援金は校友課へ集中すること。

2月13日 9：00より予算編成検討委員会

2月13日16：30より予算会議

保健館

本日14：00～15：30内科医出勤診療開始。

入試関係（22日現在）

神：24

文：659

社：5867

法：4680

経：5438

商：6958

理：1617

総数：2883

人事

1月分給与は1月25日支払いを行う。

体育館

避難者等の遊び場として体育館（卓球場）を開放。

平日 10：00～15：00

土曜 10：00～12：00

日曜日については未定。

千刈キャンプ

学生、教員、職員各1家族が避難中。

ボランティア関係

21日 41人。

昼間 76人が活動。

学生が99%を占めている。

主な業務はライフラインの維持、夜警、子供の相手等。

新グラウンドに西宮市立の小、中校舎を建てる要請が市から出ている。

学生関係

目下のことも大切だが、4月からの下宿物件を確保することも大切。

本会は、今回限りで解散、明日よりは、毎日9：30から災害対策会議の開催で対応する。

終務 船本弘毅宗教総主事

（以上をもって全学連絡会を発展的解消、以後、災害対策本部会議とした。）

◇第1回災害対策本部会議

日時：1995年1月24日（火） 9：30

場所：関西学院本部大会議室

出席者：武田、宮田、船本、山口、石田、小島、中西、

石井、大河内、古結、柚木、遠藤、鳥越、

佐々木、直野、雄山、井上（琢）、杉原、

井上（勝）、杉谷、三波、井上（久）、崎、尾崎、

安保、湯木、立木

祈祷 船本宗教総主事

常務理事より、別紙私大連への報告事項について協議。

財務関係

被災入学生、在学生の学費減免措置について、関西大学の例と比較。

関大、学生数25000人のうち、被災地区学生4700人で約20%、うち150人程度被災。

本学（大学）学生数15000人のうち被災地区学生8000人で約55%、被災1000人以上。

関大の場合、学費支弁者死亡、または家屋全壊が対象。前期半額。

なお、本学中学部で500人中全半壊30人。

総務関係

携帯電話3台設置。

自治医大の医師団に張記念館を宿泊所として貸出した。同窓会各支部宛に被害状況等をFAX通信している

（校友課）。

義援金、起案書メモについては、募金活動を視野に入れて、再度検討のこと。

大学

大学拡大学部長会を昨日開催。

広報

本日、主要5紙朝刊にて在學生に対して定期試験告知（2府4県）。明朝刊にて全国告知。

入試

入試当日要員確保。学生バイトには研究室等への宿泊をあてている。（中学部教諭は毎日8人が応援できる）。

被災者入試を検討。

学生

避難者収容は順調。

住居を失った学生は1000人強と推定される。

セミナーハウス、キャンプ場等以外に仮設住宅、学生寮建設の検討をしてほしい。

各学部より全学生に対して告知及び安否調査郵送を決定。

ボランティア関係

西宮市より学校仮校舎建設用地提供に関して住居用に変更との要請あり。

高中部生のボランティアも多い。

国際交流関係

留学生の1人だけが未確認。

高等部

900人中650人が昨日登校。無事の確認。

家族も全員無事。

100人近くが家を失っている。

来週より、教育活動を再開したい。

中学部

生徒全員の連絡方法掌握。

教科書、制服等の対応整備。

ホーム・ステイ体制。現在4軒（家族ごと可能。うち1軒は即日入居済）。

30人の被災生徒のうち8人が移動。

生協

入試弁当、サンドイッチの準備。

教員について、学部単位でまとめる。

職員について、総務部でまとめる。

◇第2回災害対策本部会議

日時：1995年1月25日（水） 9：30

場所：関西学院本部大会議室

出席者：武田、宮田、山口、石田、小島、船本、中西、石井、大河内、古結、柚木、遠藤、直野、雄山、井上（琢）、杉原、三波、井上（久）、崎、尾崎、安保、湯木、立木

祈祷 船本宗教総主事

同窓会河内長野支部がKGへの義援金持参

総務関係

職員の出勤時間帯を30分繰り下げ9：00始業、17：00終業を2月一杯にわたり実施する。なお、従来からの執務時間帯の関係で、朝8：30直後の外部からの連絡への対応や残業については各部署で配慮されたい。

人の生死にかかる安否情報について、未確認のまま流布されることのないよう注意されたい。

財務関係

学費減免措置については、その範囲、条件設定等が困難な状況だが、実施案作成に努力している。

被災学生や受験生には個別の対応が必要だが、申請書による一律対応は考えていない。学部では、本人との面接手続きを行わねばならないだろう。

大学

拡大学部長会を解散して、学部長会を復活した。

3月5日に、全学部一斉の追入試を行うことを決定。

詳細は未定。

学生関係

学館への避難者対応は、現体制を1月29日まで実施。

その後は未定。避難者自身のボランティア活動を進めたい。

国際交流

1月から開始の留学生のための日本語プログラムが6週間のうち第1週で頓挫している。春学期のスタートに支障が出よう。

その他

被災による受験不可能者への入試検定料返却方法を検討しなければならない。

中学部

生徒571人中家屋全壊（全焼を含む）12件。半壊32件。全体の8%が自宅損壊。

広報

ラジオ・メディアの利用必要。

新阪急ホテルの分室への問い合わせ減少傾向。

ボランティア関係

西宮市の仮設住宅用地を新グラウンドにという要請は、インフォーマルなもので、今後は正式要請を受けての連絡とする。

疎開キャンプ＝被災家族キャンプを明日1泊2日の日程で千刈キャンプで実施する。オーケストラ・アンサンブルが避難場所へ慰問コンサートに巡回している。

洗濯機、乾燥機を提供。

生協

これからは盗難予防を心がけねばならない。

◇第3回災害対策本部会議

日時：1995年1月26日（木） 9：30

場所：関西学院本部大会議室

出席者：武田、宮田、船本、山口、石田、小島、中西、石井、大河内、小野、柚木、鳥越、佐々木、直野、井上（琢）、杉原、井上（勝）、杉谷、三波、井上（久）中島、崎、湯木、久保田（哲）、安保

祈祷 船本宗教総主事

理事長から全専任教職員へのメッセージを本日配布。

総務

被災教職員の緊急避難先として千刈キャンプのキャンピングならびに、千刈セミナー・ハウスを1年間にわたり利用。

料金：キャンプ、キャンピング（10棟）2階（2間）＝ 3万/月

1階（1間）＝ 2万/月

セミナー・ハウス 1室（3人部屋）＝ 2万/月

食事料金：朝食 300円

（両所とも）昼食 400円

夕食 800円

ただし、寝具等は各自持ち込みが条件。
宗教センター和室、新月クラブ和室を臨時宿泊所とする。
職員配置の臨時変更
学院史資料室、図書館、就職課の業務を1時縮少して、
所属職員を1か月間他部所へ派遣する。

入試課 3人
総務課電話交換 1人
社会学部 1人
理学部 1人

他に文学部、法学部より派遣要請あり。

財務、施設関係

学生寮の風呂利用について、その実現に向けて努力中。
なお、入試期間中のトイレの水利用に節水を、特に女子トイレは「利用毎に1回」の水洗励行を貼り出してほしい。

大学関係

教務

春学期の開始を2週間遅らせる措置は止むを得ないが、
その後のプログラムに絶大な影響があり、再検討を行いたいと25日の教務主任会議で決定。

学生

昨日の避難者数178人、3：7で市民多数。
被災学生の住居、または新入生の住居確保のため、教職員の協力を得たい（新入生の上ヶ原地区での受け入れは従来は300人程度）。

入試

入試当日の受験生ルート、2月1日～4日は西宮北口～門戸、宝塚～仁川間が開通。阪急電車は、受験生へ宝塚～仁川の利用を勧めたいとのこと。2月6日からは今津線全線開通の予定（阪急電車での窓口は運輸課、松田調査役）。

可能な限り、教員の入試監督を要請する。

昨日テレビ報道があったこともあり、3月5日の追入試についての問い合わせの電話がすでに入っている。

試験当日、学生会館での受験生の宿泊が可能かどうかについては、可能であるがそのための告知はしない。あわせて、宿泊希望者に現下の状況を説明、現地見学の上で決定させる必要がある。

国際交流

165人の留学生のうち5人が未確認。大学院生は全員無事。

就職

内定取り消しはない。

高中部関係

私学連合校長会の1月25日決定で、高等部入試を2月27、28両日、中学部入試を3月1、2日両日に延期。

両部とも高等部校舎で行う。

高等部

3月1日に入試合格者発表。

1月31日から10：00～15：00の短縮授業を行う。

中学部

3月3日に入試合格者発表。

1月30日から短縮または、切り上げ授業を行いたい。

広報関係

中・高の入試変更、大学生学費減免等の告知を新聞、ラジオ等を通じて行う。

読売新聞の1月17日記事「KG 倒壊」について誤報抗議を行ったところ、本日夕刊で訂正または倒壊していないことわかる記事を掲出することのこと。

昨日、KGを取材したABCTV番組は、本日または明日の18：00頃の放映予定。

ボランティア関係

1月25日、144人、約20カ所で活動。

登録者は513人。

多人数になったので、指揮伝達等のためにも組織の立てかえを本日举行う。

生協

当面入試対応の準備を行う。

入試当日は物販オープン。文具等販売を行う。

食堂も開放。正門店もオープン。

生協ボランティアも疲労増大。

◇第4回災害対策本部会議

日時：1995年1月27日（金） 9：30

場所：関西学院本部大会議室

出席者：武田、宮田、船本、山口、石田、小島、中西、石井、大河内、古結、柚木、遠藤、鳥越、佐々木、直野、雄山、井上（久）、杉原、井上（勝）、杉谷、三波、井上（琢）、中島、崎、尾崎、湯木、久保田（哲）

祈祷 船本宗教総主事

15人の死亡学生への対応について、院長からの弔文の送付、弔問を行う。

その後、弔慰金についての統一の見解、また追悼式の検討を行う。

対策本部広報の刊行について、叩き台を提出するので、校正を行い、広報室へ連絡すること。

職員の自動車通勤を当面認める。新グラウンドを駐車場とする。また、受験生の自動車乗り入れについて検討する。学費減免のための条件、手続、窓口を考慮中。また、被災学生や新入生支援は、特別貸付けや入学時貸与奨学金等での対応も視野に入れて行うべき。総学生数の60%が被災地区である本学の現状の中で、可能なことを行うべきである。

大学

学生と父母宛の文書を準備した。これを郵送する。

ただし、被災地区の郵便事情が極度に悪い。速達便なら近隣局から手元に届く可能性がある。

入試

被災学生のための特別入試について

- (1) 被災のため
- (2) 出願していたが本来の受験日に受験できなかった生徒
- (3) 出願していたが交通事情のため本来の受験地で

受験できなかった生徒等に対して、3月5日に特別入試を行う。なお、提出書類に高校長の証明書を必要とする。

なお、この入試は、希望学部を3部まで指定することができる(ただし、受験は1学部のみ)。

募集人員等詳細は未定。

学生

下宿先捜しの協力要請文を推敲中。

避難者186人、2:8の割合で市民が多い。

2月中は、学生課職員中心で対応して行きたい。

マウイ高校より救援物資が送られて来る予定。

国際交流

連絡不明者は2人のみ。

広報

特別入試、入試交通便、学費減免等の告知を新聞、ラジオで行う。

新聞は1月29日付の予定。

高等部

今学期の特別時間割を作成中。

クラスによっては、3分の2は登校できない可能性あり。

転校希望が1、2年で各1人ずつ。

中学部

3学期スケジュール最終稿本日配布。

在籍生徒の一時転校(復学保証)を行う。

ボランティア

新規登録91人、計599人。

入試期間中の本部はベーツ・ホールに設置する。

◇第5回災害対策本部会議

日時:1995年1月28日(土) 9:30

場所:関西学院本部大会議室

出席者:武田、宮田、船本、山口、石田、小島、中西、大河内、浜口、吉松、古結、柚木、遠藤、佐々木、直野、雄山、杉原、杉谷、井上(勝)、三波、井上(久)、中島、崎、尾崎、湯木、久保田(哲)、安保

祈祷 船本宗教総主事

院長

学内教職員への義援金募集のお願い状を、ボランティア委員長との連名で出す予定。

西宮市への土地提供は、2月一杯救援物資のストックとしてグラウンドを利用させる。

総務部

入試期間中の教職員自動車通勤のための駐車場をグラウンドに設ける。

商学部嘱託職員、秋山氏一家の死亡が警察により確認された。

財務

学費減免の電話対応マニュアルを大学へ提出。

各部局の委託徴収は全額徴収を行いたい。ただし、前日の会議で、この件は各学部で検討することとなっている。

る。

特別入試の受験料措置を別途実施するのは不可能。
施設

水の状況について新グラウンド受水槽は5分の1程度の機能回復。これで全体の60%の復旧。入試はこの態勢で臨みたい。なお、本格復旧は2月末から3月初旬の予定。本日までに入試会場点検完了。1月30日に最終的に校舎一斉点検を行う。

新キャンパスは、水道圧力管の復旧チェック、建物と建物との結合部分のズレ(本来対震用のショック・アブソープ機能)を修復中。その他大きな被害なく、竣工は予定通り。

大学

臨時大学評議会、大学院委員会を1月28日に開催。

対策会議や、先の全学会議で決められたことを承認した。

入試

特別入試について、募集人員等の詰めを今後行う。

学生

避難者数174人。

死亡学生の確認作業を行っている。この後、増加する可能性は少ない。死亡学生への対応は各学部とも決まり通り行っている。ゼミ教師らが今後申問する。

高等部

高等部長より、生徒保護者への文書発信を行った。

中学部

中学部会館設計者、京都大学教授加藤氏(本学中学部OB)が本日来校し、矢内会館を視察する。

広報

1月29日朝刊、主要5紙(全国版)+神戸新聞を通じて、被災受験生の学費減免、特別入試、高、中の入試延期等を告知する。

ラジオについては

(A) 入学生の学費減免、3月5日の特別入試実施。

(B) 受験生の交通ルート・ガイド

(C) 被災在学生の学費減免。

(A)(B)パターンは1月31日~2月2日を中心に。

(C)パターンは2月1日~2月8日に放送する。

本日録音予定。

ラジオ関西、毎日放送、FM神戸、FM大阪、計110スポット。

1月17日の読売新聞報道「KG倒壊」について、訂正記事が全国に出た。その礼状を学長名で昨夜編集局長宛に届けた。

災害対策本部会議報を昨夕学内メールで郵送した。

ボランティア

登録者数 612人

昨日 165人

今後は、時期を見て学内者の救援も行う。

ボランティア本部組織を以下のようにした。(オープンは8:30~19:00)

本部 — 物資センター

ボランティア・センター 応募窓口
救援窓口

千刈キャンプの疎開キャンプ45人参加。

生協

営業案内を配布した。

大学関係

1月28日(土)、29日(日)の大学関係各部出勤体制。
9:00~17:00

各学部2人、学長室、総務部、入試部、学生部

本部関係

総務課 8:15~9:15 電話交換を行う。

財務、広報 9:30~13:00

入試期間中の道案内

門戸-KG 教職員12人、学生15人 7:30~18:00頃

仁川-KG 教職員2人、学生4人 ”

2月1日以降の本会議開催は

毎日17:30~ 同窓記念会館。

◇第6回災害対策本部会議

日時:1995年1月30日(月) 9:30

場所:関西学院本部大会議室

出席者:武田、宮田、船本、山口、石田、小島、中西、
権野、大河内、浜口、古結、柚木、遠藤、鳥越、
佐々木、直野、杉原、井上(勝)、杉谷、三波、
井上(久)、崎、湯木

祈祷 船本宗教総主事

総務

荒川匡子氏の死亡が確認された。

厚生課の電話対応業務のため、総務課に臨時移動していた学院史資料室嘱託職員を派遣した。京都大学理学部岡田教授の要請により、新月会館南庭と社会学部裏の古墳近くに地震計を設置した。

大学

在学生のうち被災者、交通途絶者、救援活動従事者の追試験料を免除する。

新年度スケジュールは、開始時期を2週間ずらしているが、春学期終了時は従来どおりとする。その間、土曜日に補講する。

学生

学生生活援助の貸付金を検討中。

下宿確保を努力中。

入試時の誘導経路等を検討中。ただし、再度の緊急時対応の検討も願いたい。

28日の避難者は165人

29日の避難者は136人

入試

2月入試の安全対策について検討中。

監督者数は充足している。

国際交流

留学生の消息全員確認(代理者の確認を含む)。

高等部

本日登校日。

生徒自治会が梅田で義援金募集を行ったところ、100万円の募金を得た。

中学部

本日より授業再開。

全生徒571人中、529人が出席。

欠席者は1年11人、2年14人、3年17人の計42人。

自宅の被害状況、通学経路の調査を行った。

下校は12:00の予定。

院長

死亡学生への弔文を28日に発送済み。

理事長

追悼礼拝には、学生、教職員のみならず、その家族、同窓会員も含む考えを検討したい。

広報

新阪急ホテルの分室詰職員は本日撤退。ただし、電話は上ヶ原へ転送させている。

新聞報道等の抗議や謝礼等は広報室を通じて一本化してほしい。

ボランティア

29日、169人活動。

30日登録者数800人。

ボランティアに兵庫県ボランティア等活動保険(200人、1か月)の加入。

40万円が必要。

財務

受験料返却について、早急の結論がほしい。

施設

入試準備はとどこおりなく進行中。

◇第7回災害対策本部会議

日時:1995年1月31日(火) 9:30

場所:関西学院本部大会議室

出席者:武田、宮田、船本、山口、石田、小島、中西、
石井、大河内、古結、柚木、遠藤、佐々木、直野、
雄山、井上(琢)、杉原、井上(勝)、杉谷、土屋、
中島、崎、湯木

祈祷 船本宗教総主事

昨日午後、私大連小山宙丸会長、同事務局長が本学へ見舞と視察に来訪。

院長

ボランティア委員会委員長と院長連名による義援金募集趣意書を本日配布する。

海外関係校からの見舞状

ランバス大、マウントアリソン大、ネブラスカ・ウェスレアン大、ジラード大

(なお、ジラード大学では1月30日本学被災のメモリアル礼拝を行い、同時に義援金募集を行うとのこと。)

大学

入試志願者は34,943人。

受験地変更者多数。

入試時の安全対策マニュアルを作成し、本日各学部へ配布。監督者にも当日周知させる手筈を整えた。

学生部

複数学部受験者の学内宿泊所として、学生会館の会議室をあてる。

門戸～KG間、仁川～KG間の両ルート確認終了。立て看板設置。

避難者145人。

毛布等の生活用品は市より供給。食事、水等は生協及び本学ボランティアによる。

国際交流部

ワッツ先生、本日帰国。

高等部

本日より授業再開。

昨日は1割の生徒が集合できず。

遠隔地への避難生徒の学館宿泊の声が挙がっている。

高等部図書室を近隣住民の学習用に20席を開放する。

中学部

授業は2月1日から再開。10:00からの開始。

広報

休刊していたウィークリーニュースは、本日午前中に作成。マスコミ等にもFAX送信する予定。

死亡学生の氏名公表について検討する。

死亡職員については、専任、嘱託、元職員は公表する。

ボランティア

30日、189人活動。

31日、900人の登録。

2月1日からの入試期間中、ボランティアのバイクと物資搬出入車の人構を認めてほしい。

◇第8回災害対策本部会議

日時：1995年2月1日（水） 17:30

場所：関西学院 同窓記念会館2階大会議室

出席者：武田、宮田、山口、船本、小島、中西、古結、
柚木、遠藤、鳥越、佐々木、雄山、井上（琢）、
杉原、井上（勝）、杉谷、井上（久）、中島、崎、
尾崎、湯木、久保田、安保

学院

1. 被災者仮設住宅問題について

日本基督教団“阪神大震災”救援活動センターからの申し入れについて。面積は学院におまかせする（菅沢氏2月1日院長との電話で回答）。

新グラウンドを貸すことには無理がある。

学生の仮設宿舎との絡みもある。この問題ですら問題がある。

グラウンドも教場である。

西宮市は仮設住宅のために金は足りないと言っているが、土地が足りないとは言っていない。

県も広大な土地もっている。

被災学生も入居対象になるのか、仁川土地が可能。

2. 広報

3. 学生会館避難場所

西宮市地震災害広報2号に掲載。

大学

1. 入試

本日の経済学部は無事終了

2. 学生部

(1) 全体として、上手くいった。来場コースは予想外に仁川が多かった（梅田での指示が成功）。

(2) 学生会館

避難者が各部屋毎に工夫。しかし、不備もあるので「お知らせ」を配布する。

3. 団交

留学生の被災状況を調べている内に、どう対応するか苦慮している。

高中部

1. 高等部

(1) 学校に来れない生徒（1、2年生）600人中40人。

ホームステイ等を検討中。

(2) 甲陵中

被害が大きい。自校の体育館が使えないので、卒業式（3月13日）にチャペルを使わせてほしい旨申し入れがあり、了承。

(3) 今後も貸し出す可能性があるので、大学で使用する日程を早目に知らせてほしい。

2. 中学部

(1) 入学試験

昨年比200人増。

(2) 今日から授業

ホームステイ25人。さらに増加。

(3) 入学式4月1日から4月3日へ変更。

(4) 全焼、全壊27件+α（在校生の約5%）

持家、借家の別はあるのか。学費免。

(5) 災害貸付30万はなじまない。

義援金+学院支援で支給したい。

ボランティア活動

1. 登録者数

2月1日現在、1000人超。

2. 問題点と課題が明確になりつつある。

3. センターから外部に情報を出す場合は、広報室に相談する。ただし、マスコミが独自に取材するものまでは無理。

4. 外部の大学からの申し入れについて問い合わせ

宿泊、食事は原則的に各自で行う。しかし、10人（3大学石巻専修、関西学院、明治学院2月10日頃）程度なので、できるだけの面倒はみたい。

学館、宗教センター（和室）などの使用を認めたい。

会議終了直前、広報関係の報告途中、日本基督教団“阪神大震災”救援活動センターの代表菅沢邦明（西宮公会教会）牧師ら一行、約20人が会議場に乱入。かねてからの要望事項について理事長以下に回答を迫り、菅沢牧師は昂じて懐中より折りたたみナイフをとり出し、理事長を恫喝。会議出席者を深夜11時に至るまで退出させない挙に出た。

◇第9回災害対策本部会議

日時：1995年2月10日（金） 15：00
場所：関西学院本部大会議室
出席者：武田、山口、石田、中西、石井、大河内、古結、
柚木、直野、雄山、井上（琢）、杉原、井上（勝）、
杉谷、三波、井上（久）、崎、尾崎、湯木

日本基督教団本部へ出張の宮田、船本、鳥越氏より、出張目的は完了したとの電話報告が紹介された。

千刈セミナーハウス、千刈キャンプの本学被災者及び通勤困難者への宿泊料金については、3月末日まで、無料とする。

追悼礼拝については、文学部は3月19日（日）に実施することを希望している。それに追従する学部も出てくるだろうが、学院の追悼礼拝の仕様が早く決定されれば、その状況によって、学部礼拝の実施内容も変化するだろう。

学院追悼礼拝の準備のため委員会を組織し、常務委員会の下で早急に活動を開始する。

委員として、委員長（コンビーナ）、宗教総主事、学生部長、大学事務部長、各学部・高・中の宗教主事、同窓会専務の理事とする。なお、事務は総務部が行う。

就職部

震災による内定取消が一件あった。

入試部

2月1日～8日の入試では、欠席、遅刻は例年どおり。

懸念された受験票未着者は1通もなかった模様。

当日受験を希望した者はなし。

特別入試の入試要項は13日納品予定。

受験日欠席者、高校、予備校、問い合わせのあった生徒等へ配布。

学生部

上ヶ原小学校から体育授業にグラウンド使用を求めている。

上ヶ原中学校の本学校舎利用については、西宮市教育委員会当局の了解の下で公表すること。

学生下宿獲得については、別紙のプロジェクトチームの設置を検討している。

広報

JR西日本コミュニケーションを通し、2月11日から20日の間、近畿圏JRの普通電車、快速電車2700車両に総合政策学部と特別入試、さらに下宿提供要請の広告を掲出する。

商学部

地元甲陵中学校卒業式に、高中部礼拝堂を貸出する。

中学校

授業を再開しているが、平均して1クラス3人程度の欠席。

全学で26人がホームステイ先から、96人が避難先から通学している。

ボランティア

登録者数現在1431人。IDカードを発給している。

岡本先生負傷（自損）。

次回は、2月15日（水）12：00～大学大会議室で開催。

◇第10回災害対策本部会議

日時：1995年2月15日（金） 12：00
場所：関西学院本部大会議室
出席者：武田、船本、山口、石田、中西、大河内、古結、
柚木、鳥越、雄山、井上（琢）、杉原、井上（勝）、
杉谷、三波、井上（久）、尾崎、湯木、
久保田（哲）、寺川

祈祷 船本弘毅宗教総主事

教職員の被害状況調査を行う。

年度内に学院追悼礼拝を行う。

日本基督教団三役へ本学からの状況を伝えに行ったところ、本学での2月1日の事柄はその通りとの確認が行えた。兵庫県の慰霊行事として、正午に1分間の黙祷を呼びかけているが、これにどう応えるか。

阪神間被災大学、短大連絡会（仮称）の開催を図っている。日本基督教団への抗議と、それに関連して本学でのキリスト教のあり方について、再考の時機ではないか。

弔慰金額について、被災学生の学費免除額と比べてアンバランスではないか。学院として、検討すべきだ。

ボランティア活動のKG内での位置づけをしてほしい。（2/14の学部長会での意見）。

学生部

学館の使用は3月になれば平常通りとしたい。ただし、2月15日現在54人の避難者がいる。

住宅開発プロジェクトは生協の協力を得て順調に進んでいる。

近隣での下宿開発にDMの検討をしている。

教務部

上ヶ原中学校への校舎貸与に関連して、他にも上ヶ原小学校からのグラウンド使用の要請も出ている。

大学の春学期期間は始業時間を30分遅らせて、9時10分からとする。

入学式を10時開始とする（予定では9時）最終詰めは未。

入試

特別入試要項完成。

電話問い合わせのあった120人の生徒。700人の欠席者、近畿地区、中国地方等の予備校へ要項を配布する予定。

地方試験会場として利用した明治学院、研数学館、北九州予備校から使用料辞退の申し出があった。

中学部

被災生徒の救済を検討している。

中学入試が3月1日となったことで、大阪からの受験者は増加している。そのうちの辞退者第1号は母親の逝去によるもの、また、それ以外の5人の中には、別の私学に入学できたことにもよるが、関学を目指している被災生徒のことを考え、いたずらに倍率を上げることはいさぎよしとしないとの理由で辞退した人もいる。

ボランティア

高等部ボランティアにもIDカード発給、高等部独自の活動をしている。

ボランティアの終結についてを考え出している。

17日、第2回目の風呂ツアーを実施。

義援金への礼状をどうするか。

2月26日(日)14:00~15:30、甲山音響楽団(KG)のOBのオーケストラ演奏会を中央講堂にて開催。

ボランティア活動の組織上、また学生の帰属意識上の問題として位置づけについて院長、宗教総主事、学生部長、ボランティア委員長で、具体案を策定し、大学執行部等に上程することとする。

生協

共済加入者は1万人強。3000人弱が火災共済加入。地震特約者は極めて少ない。全国生協は、共済加入会員に見舞金3万円を特別給付すると決定。約150人が手続きに来ている。今後の告知のため、父母住所宛にDMを出すことを検討している。月額8万円(ご父母の逝去の場合)が在学中に給付される項目もある。

出資金について、被災新入生からは徴収しない。しかし、最低500円の出資をしてもらって、組合員としての権利を取得してもらおうことを組合理事会で決定。

卒業する組合員に返還金を出しているが、被災もなく、その意向のある人に生協復興資金のために寄付申し込みをお願いしたい旨(1口2000円単位)の検討をしている。

広報

被災大学の中ではすばやく震災に対応していることからマスコミの来学が多い。対応をよろしく。

菅沢牧師の件で新聞社から問い合わせがすでに来ている。

JR西日本コミュニケーションを通じてJRの近畿圏の車両に広告掲出。

次回は、2月28日(火)正午より学院本部大会議室にて開催。

◇第11回災害対策本部会議

日時:1995年2月28日(火) 12:00

場所:関西学院本部大会議室

出席者:武田、宮田、船本、山口、石田、中西、権野、大河内、古結、柚木、遠藤、鳥越、雄山、井上(琢)、杉原、杉谷、三波、井上(久)、中島、湯木、安保

祈祷 船本宗教総主事

理事長

阪神間被災私立大学・短期大学連絡会の文部省への要望について、2月20日以降の概要報告。

院長

日本基督教団救援センターの件については、教団対策を含めて、船本、鳥越氏らの会合、相談の上、教団の組織している委員会宛に文書を提出している。

CoC委員会、キリスト教主義学校教育同盟等の常任

委員会レベルからも、教団に対する要望が提出されている。

総務

グラウンドの駐車場使用は本日限り、3月1日からの教職員の構内乗り入れは、従来の原則にもどる。

大学の期末レポート受付業務に、管理・監督者を動員して、その支援体制を固めている。

施設

3月26日(日)の渡辺貞夫氏らによるチャリティー・ジャズ・セッションについて、実施の方向が別紙のとおり明確になった。なお、これの実現に当っては、学内組織を含めて大学と相談の上、次の段階に移行したい。

学生部

本日の避難者38人、うち10数人は教職員関係者、その他の20人は夜間だけ来学、2~3人が四番町の自宅崩壊の様。

3月末日を目安として、避難所としての機能を停止したい。

国際交流部

外国人留学生のうち20人程度が住居を無くしている。

就職

震災による就職取消者(女子1人)は、別の企業に内定。

また、別に男子1人の採用取消しがあったが、これについては公共団体への就職であり、行政当局に対し、就職部からその撤回を求めている。

広報

日本基督教団問題についてはマスコミが取材を進めている。

本日発売の「サンデー毎日」に記事掲載。

ボランティア委員会

本日130人活動。

必要数は減っている。

復活祭を1つの目途として活動を再検討する。

次は、心のケアが問題となるであろう。

今後、総合コースに「ボランティアと社会的ネットワーク」の講座を設けたい。

高中部

マウイ高校から4トン車2台分の救援物資が到着した。JALが輸送費を無料に、税関も無料の扱いであった。

生協

本学の災害対策本部の業務はほぼ完了し、平常にもどりつつある。しかし、全国大学生協連が、今も本部を形成しており、当分の間、本学も設置しておく。

日本基督教団との問題について、学内にも広報の必要がある。

ボランティア問題については、今後、本部会議に検討の場を移す。

(今回をもって、災害対策本部会議の最終回とした。)

1995年1月27日

学生およびご父母の皆様へ

この度の阪神大震災により、被害にあわれた方々に謹んでお見舞い申し上げます。また、関西学院大学に対して寄せられましたご父母の皆様からのご支援・激励に対し、深く感謝いたします。在学生およびそのご家族、教職員のなかにも、亡くなられた人々、負傷された人々があり、深く心を痛めております。

しかし、大学の施設にはほとんど被害はなく、急速に復旧しつつあります。

1月27日までの授業については、交通事情による通学の困難を考慮して休講措置をとっております。秋学期定期試験については、1月24日および25日の朝刊各紙にて公表いたしておりますし、詳しくはここに書類として同封しておりますので、よく目をお通しください。

被害を受けられたり、通学が困難な学生の皆さんについては、試験をはじめ今後の学生生活に関しても十分な配慮を考えております。学生の6割が阪神間に居住している本学にとって、その影響は深刻なものがああります。しかし、くじけず全員の協力により、勇気をもってこの悲惨な事態を切り抜けていきたいと思っております。

このような状況下にあっても関西学院は、周辺の下宿生や地域住民の人たちのために、学生会館の一部を避難場所として提供しておりますし、多くの学生・教職員が周辺地域で被災者へのボランティア活動も行っております。

学生の皆様をはじめご家族の生活とその条件が一日も早く復旧されることを願って、全学あげて奮闘しております。

【追記】皆様の状況を把握するために同封の返信用ハガキに必要事項を書き入れ、お知らせください。なお、直接被災されなかった方も必ず投函してください。

関西学院大学

学 長	柚 木	学
神学部長	宮 谷	宣 史
文学部長	岩 瀬	悉 有
社会学部長	西 山	美 瑩 子
法学部長	三 浦	澄 雄
経済学部長	山 本	栄 一
商学部長	森 本	隆 男
理学部長	小 西	岳

秋学期定期試験についてのお知らせ

1995年1月21日、及び1995年1月24日（地域によっては1月25日）の朝刊でお知らせしましたが、ここにあらためてお知らせします。

1995年1月21日朝刊

関西学院大学学生諸君へ

- 1、授業は1月27日(金)まで休講とし、補講は行いません。
 - 2、2月13日(月)からの秋学期定期試験は予定どおり実施します。
 - 3、1月下旬に実施の繰り上げ定期試験は日程・実施方法等変更します。
- (詳細は各学部事務室または新阪急ホテル内大阪連絡所06—372—4394)

1995年1月24日（または1月25日）朝刊

関西学院大学学生の皆様へ

今年度の秋学期の授業はすべて中止いたします。授業中に行われる予定であった試験、定期試験以前の時期に設定されていた試験は原則としてレポートになります。定期試験に代わるレポート等も含め、締切は下記のとおりに設定します。秋学期の定期試験は、予定どおり行います。

秋学期定期試験	<全学年>	2月13日～2月28日
レポート等締切	<4年生>	2月28日
	<1～3年生>	3月6日

【被災した学生及び通学が困難な場合】

①秋学期定期試験を受験できない場合は、全科目でレポートによる追試験（100%採点）の資格を認めます。題目は2月中旬以降に明らかにします。締切は下記のとおりです。

追試験 (すべてレポート)	<4年生>	3月6日
	<1～3年生>	3月20日

②追試験のレポートなどを期限内に作成できなかった学生にも、十分な配慮を考えています。現在、大学は電話の受信・発信が難しい状態ですので、通信が良好になるまで待って各学部にご相談してください。

(注) 定期試験の時間割は1～V時限目まで、すべて各時限1時間遅らせて開始します。

I時限目は10時からです。

各学部の事務室の電話番号は(0798)54—神6200、文6201、社6202、法6203、経6204、商6205、理6206。また、電話による問い合わせを大阪分室(06—372—4394)でも受け付けています。

各学部及び教務部からの秋学期定期試験に関する連絡事項

学部共通事項

他学部開講科目を履修している学生は、当該学部の連絡事項を参照すると共に、問い合わせも当該学部へ行って下さい。追試験の手続きは2月10日（金）から受け付けます。

文学部

定期試験の辞書等持ち込みの可否は2月9日（木）から文学部本館正面に掲示します。試験範囲は、1月14日（土）迄の授業分です。追試験を含めすべてのレポート題目は、2月中旬以降に発表します。

社会学部

秋学期定期試験は、予定どおり2月13日（月）から実施されますが、社会学部開講科目については、レポート試験に切り換えられる科目があります。レポート試験となる科目、レポートのテーマ等についてのリストを2月10日から社会学部事務室において配布します。

法学部

ゼミ論文等の提出物がある場合は、担当者から指示がない限り締切日を4年生：2月28日（火）、その他の学年：3月6日（月）とします。

経済学部

授業中及び繰り上げにて行われる予定であった科目は、英語経済書講読Ⅰ・Ⅱを除いてレポートになります。●レポート実施科目＝ドイツ語Ⅲ（501）・英作文（特）・フランス語Ⅲ（501）・英語講読B・仏語経済書講読・英語ⅢB（501）・英語（特）・経済学演習
●レポート締切期日＝4年生：2月28日（火）、1～3年生：3月6日（月）。

英語経済書講読Ⅰ・Ⅱは、2月25日（土）Ⅲ時限目に試験を実施します。定期試験の辞書等持ち込みの可否は2月9日（木）から経済学部本館に掲示します。

商学部

定期試験実施の予定科目のうち、レポート試験に変更する科目があります。詳細は、2月13日以降に発表しますので、直接事務室で受け取るか来れない人は電話で連絡をして下さい。

理学部

定期試験の持ち込み許可は次の通りです。

健康科学講義B2・G すべて可／総合コース431 すべて可／ドイツ語Ⅱ甲1・2・3・4
辞書／西洋史 ノート（コピー不可）／社会学 教科書／情報処理Ⅱ すべて可／原子物理学Ⅰ ノート（コピー可）、電卓／数値解析Ⅱ 配布プリント、電卓／物理数学Ⅲ すべて可／生物物理学Ⅱ ノート（コピー可）

教務部

総合コースは従来追試験は行っておりませんでした。今学期の定期試験については実施いたします。詳細は2月10日以降に掲示いたします。

各部課からの連絡事項

学生部 厚生課

○新「学生証」作成に必要な写真の提出期限を2月28日（火）に延期します。「学生証顔写真貼付台紙」を紛失した場合は、所属学部・研究科事務室にご相談下さい。なお、被災された学生及び通学困難な学生の皆様が期限内に提出できなかった場合は、十分な配慮を考えていますので、所属学部・研究科事務室へ登校できるようになった段階で相談もしくは電話にてご連絡下さい。

○被災学生のための学生下宿確保に努力しておりますが、現在確保が大変困難な状況ですので、入居可能な部屋の情報がありましたらご提供下さいますようお願いいたします。（連絡先 厚生課：0798-54-6113）

1995年1月18日

報道機関各位

学校法人 関西学院
関西学院大学
関西学院高等部
関西学院中学部

被害状況に関するご報告

この度の兵庫県南部地震に際しまして、本学の活動にご理解・ご支援をいただき誠にありがとうございます。一部の報道機関で本学が「倒壊している」との報道がされているようですので、18日午前までの状況を簡単にご報告申し上げます。

・上ヶ原キャンパス内の建築物はほとんど損傷していません。

・貯水曹や一部水道管が破裂したため、水の配供給ができない状態です。また、最も多くの学生・教職員が通学手段として使用している阪急電鉄今津線が不通になっており、1月21日(土)まで休校とすることを決めました。授業の再開については、あらためて発表する予定です。

・電話回線は生きていますが、本学から外部への通信はできない状態です。ただし、外部からの電話は代表・ダイヤルインともつながります。(公衆電話からの方がつながりやすいようです)

・大学周辺に下宿している学生の安否については、現在厚生課員が周辺の下宿屋を回って確認作業を行っています。しかし、その多くが倒壊しており、17日午後までの段階で8人の学生が死亡したことが分かったものの、氏名などについては確認を急いでいる段階です。

・西宮市仁川百合野町の土砂崩れで埋まった家屋の中に合宿中の本学柔道部の学生たちが生き埋めになっているとの情報が報道されていますが、柔道部の川端

雅英副部長に確認したところ、柔道部は合宿所を持っておらず、合宿の予定もなく、当該地域に下宿している学生もいないとのことです。

・教職員の安否については、大半が連絡できない状態です。理事、退職教授や一部教職員のご家族が亡くなった以外は、現在のところ現職教職員の死亡等の連絡は入っておりません。

・居住場所を失った学生が多数いるため、17日は学生会館のロビーを開放し、約50人の学生が泊まり込んでいます。

・西宮市災害本部と協力態勢を取り、学生会館を18日から地域の被災者および学生のために開放しました。ただし、食糧の確保がほとんどできておりません。

・入学試験の申し込みは、大学、中学部とも出願期間を延長し、願書の受け付けおよび検定料の納入とも1月23日(月)の消印まで有効とします。

(ただし、中学部については、それでも手続きが不可能な方は試験当日でも受けられます。災害発生前に設定していた出願期間は大学は1月4-18日、中学部は1月11-20日でした。なお、2)の大学の入学試験の出願期間の延長について、18日午前中に電話で「1月21日消印有効」との連絡を報道各社にさせていただきましたが、さらに延長いたしましたので、お詫びして訂正させていただきます)

上記の件についてお問合せがありましたら、関西学院広報室(代表0798・53・6111内線3042、直通0798・54・6017)までご連絡ください。